■水上滝太郎　　小説家。実業家との二重生活を続けながら，健全なモラリスト精神による作品を書いて，早世した。
みなかみたきたろう
国民之友始・1887＝　　東京府麻布区飯倉町で，_明治生命保険会社創設者の阿部泰蔵の四男に生まれる。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

_塵応義塾普通部・予科を経て，
日露戦争終・1905＝18歳：

_大学部理財科に進むと，永井荷風の講義を熱心に聴き，

韓国併合・・1910＝23歳：_荷風によって{三田文学}が創刊されると，
大逆事件判決1911＝24歳：*同誌に処女作「山の手の子」を発表，久保田万太郎ともに"三田派"新進作家として知られ，作品集「処女作」「その春の頃」「心づくし」を出版。
明治天皇没・1912＝25歳：_慶大を卒業して，アメリカ・ハーバード大学に留学。経済学を学び，
第一次大戦始1914＝27歳：
イギリス滞在を経て，
民本主義・・1916＝29歳：_帰国。以後，父の創立した明治生命保険会社に勤務。
ロシア革命・1917＝30歳：_大阪赴任となり，
本格政党内閣1918＝31歳：_「貝殻追放」と題する評論・随筆を書き始める。
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝32歳：_帰京後，
大暴落・・・1920＝33歳：_「貝殻追放」の1冊目を刊行，
原敬首相暗殺1921＝34歳：
水平社結成・1922＝35歳：_大阪での勤務体験を生かして，長編小説「大阪」，
関東大震災・1923＝36歳：

治安維持法・1925＝38歳：_休刊中の{三田文学}を復刊し，後進の指導に尽力。
円本時代始・1926＝39歳：*「大阪の宿」などの代表作が生まれた。

満州事変・・1931＝44歳：
五一五事件・1932＝45歳：
国際連盟脱退1933＝46歳：*明治生命保険の取締役となって以降も，会社業務と作家活動を調和両立させる努力をつづけ，
帝人疑獄事件1934＝47歳：_随筆・評論集「貝殻追放」全6冊となる。

_骨太な文明批評と誠実な人柄とによって重きをなし，
日中戦争始・1937＝50歳：

第二次大戦始1939＝52歳：_大阪毎日新聞社取締役に選ばれ，「貝殻追放」を書き続け，小説・戯曲の創作活動も盛んであったが，
大政翼賛会・1940＝53歳：*女性社員の"銃後の娘の会"の発会式で，専務取締役として挨拶した直後に，脳溢血で倒れ没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，